

2013年12月4日

沖縄県知事
仲井眞 弘多 様

仲井眞知事は初心を貫いて信念に基づいた決断をしてください

昨年9月、沖縄県民が一つになって10万人集会で普天間基地の早期閉鎖と撤去を求める叫びは、沖縄の皆さんの切実な悲願であったと思います。

沖縄県は昨年、名護市辺野古への米軍普天間飛行場移設計画に伴う政府の環境影響評価（アセスメント）の評価書に579件の知事意見を提出し、「環境保全は不可能」としていました。さらにこのたび、辺野古移設に伴う埋め立て申請に関し、県環境生活部から県土木建築部に対し、防衛省が示した環境保全策の問題点を18項目48件にわたり指摘して住民の生活と環境保全への大きな懸念を示した意見も提出されました。

辺野古に基地を作ることが無理である事は、仲井眞知事が一番良くご存知と思います。政府・自民党の恫喝とも受け取れる強要で圧力に屈し、辺野古容認に転換した自民党国会議員、県議連の不甲斐なさは見るに耐えません。仲井眞知事におかれましては、初心を貫いて信念に基づいた決断をしてください。私たちも応援しております。よろしくよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
理事長 佐竹順子